

## 医療DXによる地域医療体制強化事業について

### 1 実施期間

令和7年度～令和8年度（2か年の重点事業として実施。令和9年度以降の進め方については改めて検討する。）

### 2 主な事業

#### （1）医療DX推進協議会の設置・運営

当面の医療需要の増加に対応しつつ、県内のどこに住んでいても安全で質の高い医療を受けられる体制整備や、医療DXの理解促進のための方策について検討を行うための場として、県、市町村、医療関係者等で構成する協議会を設置・運営した。（設置要綱・名簿は別紙のとおり）

##### ○第1回会議

日 時：令和7年8月29日（金） 18:30～20:30

場 所：岡山県医師会館401会議室（ハイブリッド方式）

出席者：委員およびオブザーバー（岡山市保健所長、倉敷市保健所長・県保健所長）

議 題：オンライン診療・遠隔医療についての課題整理

医療DX推進シンポジウムの開催

国及び県における医療DXの状況 等

##### ○第2回会議（予定）

日 時：令和8年3月16日（月） 19:00～21:00

#### （2）岡山県医療DX推進シンポジウムの開催

へき地など医療資源が少ない地域でのオンライン診療の活用可能性を考えるシンポジウムを開催した。

日 時：令和8年1月10日（土） 14:00～16:00

場 所：岡山県医師会館三木記念ホール（ハイブリッド方式）

参加者：県内医療・介護関係者、DX関連事業者など154人（会場69人、オンライン85人）

内 容：

<基調講演>

・テーマ：山口県の離島へき地におけるオンライン診療の取組

・講 師：山口県立総合医療センターへき地医療支援センター長 原田昌範先生

<パネルディスカッション>

・テーマ：岡山県におけるオンライン診療の導入可能性について

・パネリスト：山口県立総合医療センターへき地医療支援センター長 原田昌範戦士

岡山県医師会常任理事 合地明先生

大阪公立大学大学院情報学研究科 教授 安在大祐先生

奈義町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 植月尚子氏

## 岡山県医療DX推進協議会設置要綱

### (趣旨)

第1条 当面の医療需要の増加に対応しつつ、県内のどこに住んでいても、安全で質の高い医療を受けられる体制を実現するための医療DXの取組について、県や市町村、医療関係者等が課題の整理や具体的な方策を協議する岡山県医療DX推進協議会（以下「協議会」という。）を設置し、その運営に必要な事項を定めるものとする。

### (協議事項)

第2条 協議会は、次の事項について協議する。

- (1) 県内医療関係施設の医療DXの推進に向けた課題整理等の検討に関する事項
- (2) 医療DXの理解促進に関する事項
- (3) 医療DXの動向における情報共有に関する事項
- (4) その他、目的を達成するために必要な事項

### (構成員)

第3条 協議会の委員は、保健医療関係者、有識者、行政関係者等から知事が委嘱又は任命する。

- 2 委員の任期は、令和9年3月31日までとする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### (会長及び副会長)

第4条 協議会に会長1名及び副会長1名を置き、委員の中から互選する。

- 2 会長は、協議会を代表し、会務を総括する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

### (会議)

第5条 協議会は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

- 2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席した委員（臨時委員を含む）の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 会長は、必要があると認めるときは、協議事項に関して専門的知識を有する者等を会議に出席させることができる。

### (部会)

第6条 協議会は、必要に応じて部会を設置することができる。

### (庶務)

第7条 協議会の庶務は、保健医療部医療推進課において処理する。

### (その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は会長が別に定める。

### 付 則

この要綱は、令和7年8月12日から施行する。

## 岡山県医療DX推進協議会委員名簿

(任期：令和7年8月12日から令和9年3月31日まで)

区分	団 体 名	職 名	氏名
医療関係団体	岡山県医師会	会長	松山 正春
	岡山県医師会	常任理事	合地 明
	岡山県病院協会	理事	松本 健五
	岡山県歯科医師会	副会長	石戸 善一郎
	岡山県薬剤師会	常務理事	森山 圭
	岡山県看護協会	会長	二宮 一枝
	岡山県訪問看護ステーション連絡協議会	会長	菅崎 仁美
有識者	川崎医療短期大学	学長	秋山 祐治
	岡山プライマリ・ケア学会	会長	福嶋 啓祐
行政関係団体	岡山県市長会	会長	栗山 康彦
	岡山県町村会	会長	小倉 博俊
	岡山県保健所長会	会長	岩瀬 敏秀
	岡山県保健医療部	部長	辰巳 秀爾

令和7年度

# 岡山県医療DX推進 シンポジウム

これからの地域医療と  
オンライン診療を考える



参加無料

## プログラム

### ①開会挨拶

岡山県医療DX推進協議会 会長  
松山 正春 先生 (岡山県医師会長)

### ②基調講演

テーマ:山口県の離島へき地におけるオンライン診療の取組  
講師:山口県立総合医療センター へき地医療支援センター長  
原田 昌範 先生  
座長:岡山県医療DX推進協議会 副会長  
松本 健五 先生 (岡山県病院協会理事)

### ③パネルディスカッション

テーマ:岡山県におけるオンライン診療の導入可能性について  
進行:フリーアナウンサー 石田 好伸 氏

## パネリスト

山口県立総合医療センター へき地医療支援センター長	原田 昌範 先生
岡山県医師会 常任理事	合地 明 先生
大阪公立大学大学院情報学研究科 教授	安在 大祐 先生
奈義町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター	植月 尚子 氏

開催日時

令和8年1月10日(土)  
14:00~16:00 (13:30開場)

場所

岡山県医師会館 三木記念ホール  
(岡山市北区駅元町19-2) オンライン配信あり

対象者

県内の医療・介護関係者、DX関連事業者 等  
(一般の方もご参加いただけます)

講師



山口県立総合医療センター  
原田 昌範 先生

県土の約60%が医療的へき地である山口県において、「へき地に医療と安心を届け、ふるさとの地域社会を守ることを目指し、山口県総合医療センターに設置された院内組織「へき地医療支援センター」のトップとして、へき地の診療支援、仕組みづくり、次世代の育成にご尽力されている。令和6年度へき地医療貢献者(全国自治体病院協議会)を受賞。現在、厚生労働科学特別研究事業(オンライン診療)の班長、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)社会実装アドバイザーとして、地域医療における医療DXに取り組む。

主催:岡山県(保健医療部医療推進課)

お問い合わせ先 〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6 ☎086-226-7403

お申し込みはこちら



<https://qlear.cloud/ko-seikan/medical-care-symposium2025>